

公共施設のあり方点検 総括表

施設名	野外教育センター奥志摩みさきの家	施設所管課	教育委員会事務局 生徒指導課
-----	------------------	-------	-------------------

1 資産の概要

(1) 所在地，構造，売却見込み額等

所在地	三重県志摩市大王町		
構造等	鉄骨平屋建て 他		
	延べ床面積	2,727 m ²	敷地面積 126,581 m ²
管理方法	直営	施設の管理者	
規制内容	不明		

(2) 建設年次，大規模改修（長寿命化）実施時期等（庁舎施設改修シミュレーションより）

建設年次	昭和56年4月	プレイホール H2建設 宿泊棟 H16建設 バンガロー H14～16建設
直近の大規模改修実施時期	令和6年（築17年）	施設としては築40年
大規模改修費用見込み	改修 18,944(千円)	

(3) 稼働率，稼働状況等（令和元年度）

① 1日当たりの利用者数	42.3 人／日	
総利用者数	10,321 人	※ R1.11までの集計
年間稼働日数（休館日除く）	244 日	

② 稼働率	%
-------	--------------------------

(4) 年間経費（令和元年度実績）（単位：千円）

支出	収入	うち、指定管理料または委託料
85,902	0	

① 利用者1人当たりの年間経費（（支出－収入）÷総利用者数） 8,323 円／人

② 利用者1人当たりの年間経費（指定管理料等除く） 8,323 円／人

※ △が表示されているものは、収入超過を示している。

2 設置目的（現状との乖離があれば記載）

海に接する機会の少ない京都市の児童・生徒に対し，太平洋を臨む豊かな自然に恵まれた環境の中での共同生活・野外生活を体験させ，責任感・自立性・協調性を養い，心身の健全な発達を図ることを目的として設置している。

3 「機能」の今日的意義の検証

(1) 「施設」と「機能」の分離の可否（当該施設でないと提供できない機能が否か）

代替施設の確保など、諸条件が整えば分離可能。

(2) 施設の統廃合、施設と機能（サービス）の切り分けにおける課題

- ・これまでと同様の教育活動（全小学校4年生での宿泊体験活動）を実施する場合、海の野外活動を実施する代替施設の安定的な確保が必要。
- ・開所以来、長期にわたり利用してきたことから、委託業者（地元の振興会）や現地雇用の職員（会計年度任用職員）に対する丁寧な対応が必要。
- ・廃止後の維持管理や跡地活用の検討。

(3) 財政的な問題（国庫補助金の返還等）

特になし

4 その他（考慮すべき特殊事情等）

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度から利用休止中。令和5年度までの受入休止を決定済。

5 施設所管部署内での検討状況

- ・昭和56年の開所当時と比較して府内や近隣にも国立・府県立や民間の野外施設があり、移動に片道3時間30分程度を要する奥志摩みさきの家を全校一律に利用する必要性が薄れている状況を踏まえ、施設の閉所も視野に検討を進める。
- ・なお、施設を閉所する場合は、単なる事業廃止ではなく、府内や近隣の野外施設の利用など宿泊を伴う自然体験学習のあり方についても検討する。